受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

「パインブリッジG7金融機関ハイブリッド証券ファンド2014-08」は、信託約款に基づき、2018年7月31日をもちまして償還を迎えました。当ファンドは主としてG7諸国のG-SIFIsに指定されている、または指定される見込みの金融機関が発行しているユーロ建ておよび英国ポンド建てのハイブリッド証券を主要投資対象とし、相対的に高水準かつ安定的な利子・配当等収益（インカム収入）の獲得を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指しました。また、外貨建て資産については、原則として為替のフルヘッジを行いました。ここに、運用状況および償還内容をご報告申し上げます。

長い間ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当作成期の状況

償還価額　(当作成期末)	10,203円23銭
純資産総額　(当作成期末)	3,103百万円
騰落率　(当作成期)	△1.4%
分配金合計　(当作成期)	5円

(注) 騰落率は収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記<お問い合わせ先>ホームページの「ファンド一覧」の「償還ファンド一覧」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、当ファンドのページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。
運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。運用報告書（全体版）をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

交付運用報告書
満期償還

パインブリッジ G7金融機関 ハイブリッド証券 ファンド 2014-08
<愛称：グッド・セブン 14-08>

単位型投信／内外／その他資産
(ハイブリッド証券)

第8作成期
(2018年2月16日～2018年7月31日)
第15期（決算日：2018年5月15日）
第16期（償還日：2018年7月31日）

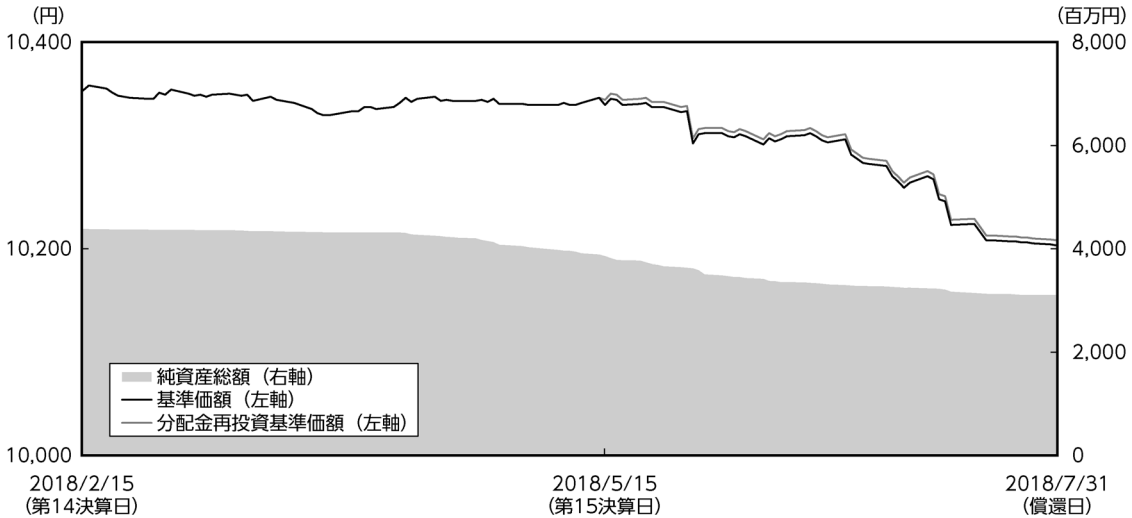
PINEBRIDGE INVESTMENTS

パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 ＪAビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当
電話番号／03-5208-5858
(受付時間／9：00～17：00（土、日、祝休日を除く))
ホームページ／https://www.pinebridge.co.jp/

運用経過（2018年2月16日～2018年7月31日）

基準価額等の推移



第１５期首：　10,353円
償　還　日：　10,203円23銭
（作成対象期間中の既払分配金：5円）
騰　落　率：　△1.4%（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首の基準価額をもとに指数化しています。
※当ファンドは単位型投信ですので実際には分配金を再投資することはできません。また、課税条件等を考慮しておりませんので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

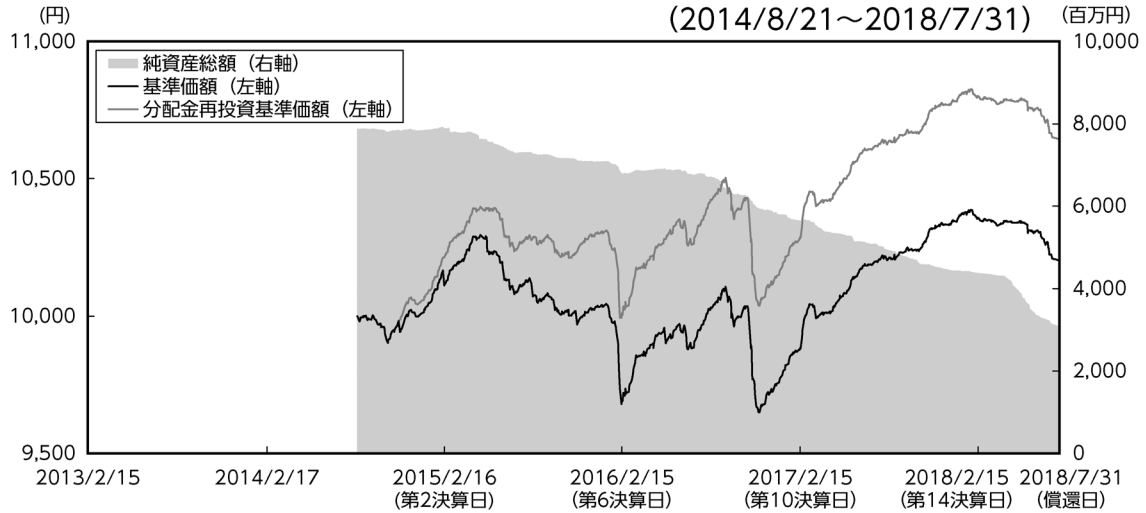
当ファンド保有のハイブリッド証券のインカム収入を得られたことがプラス要因となったものの、保有ハイブリッド証券の価格が総じて下落したことが主なマイナス要因となり、基準価額は下落しました。また、既に繰上償還見送りが決定していたコメルツ銀行、RBS発行のハイブリッド証券について時価売却を行いましたが、基準価額への影響は限定的でした。

1万口当たりの費用明細

項　目	第15期～第16期 (2018.2.16～2018.7.31)		項 目 の 概 要
	金　額	比　率	
信託報酬	67円	0.653%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,322円です。
(投信会社)	(33)	(0.319)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
(販売会社)	(33)	(0.319)	交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.010	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合　計	68円	0.663%	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。
※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※当ファンドは単位型投信ですので実際には分配金を再投資することはできません。また、課税条件等を考慮しておりませんので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
※当ファンドは、適切に比較できる指数がないため、ベンチマーク等はありません。
※当ファンドは、設定日から5年間経っていませんので、設定来の推移を表示しています。

		2015/2/16 決算日	2016/2/15 決算日	2017/2/15 決算日	2018/2/15 決算日	2018/7/31 償還日
基準価額	(円)	10,112	9,680	9,877	10,353	10,203.23
期間分配金合計（税込み）	(円)	100	220	80	20	5
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	2.1	△2.1	2.9	5.0	△1.4
純資産総額	(百万円)	7,880	6,784	5,645	4,378	3,103

※2015/2/16決算日の騰落率は、設定日との比較を表示しています。
※2018/7/31償還日の騰落率は、2018/2/15との比較を表示しています。

投資環境について

当作成期のハイブリッド証券市場は下落しました。作成期首は方向感の定まらない動きとなりましたが、4月に入るとインフレ圧力の高まりや米国の追加利上げ観測などに伴う米国の長期金利の上昇などが嫌気されました。その後も、トランプ政権の保護主義的な通商政策を受け米国と主要国との間で貿易摩擦の激化観測が高まったことや南欧の政治リスクの高まりなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、信用スプレッド（国債への上乗せ金利）が拡大傾向となったことなどが嫌気され軟調な展開となりましたが、作成期末にかけては原油価格の上昇一服に伴うインフレ圧力の弱まりや好決算発表を受けた株式市場上昇に伴うリスク選好の動きの中、下落幅は縮小しました。

ポートフォリオについて

当ファンドの運用方針に基づき運用を行いました。コール償還を迎えた銘柄以外は2018年7月31日のファンドの償還に向けてポートフォリオの現金化を図りました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ベンチマーク等はありません。

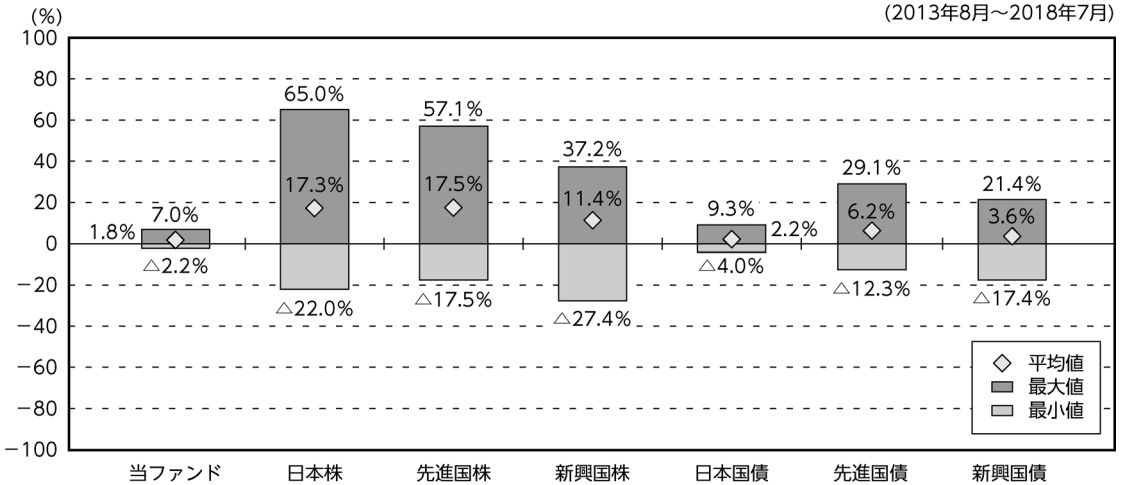
分配金について

当作成期の収益分配金につきましては、基準価額水準と市況動向を勘案して第15期5円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきました。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたしました。

当ファンドの概要

商品分類	単位型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）
信託期間	2014年8月21日から2018年7月31日まで
運用方針	・G7諸国のG-SIFIsに指定されている、または指定される見込みの金融機関が発行しているユーロ建ておよび英国ポンド建てのハイブリッド証券を主要投資対象とし、相対的に高水準かつ安定的な利子・配当等収益（インカム収入）の獲得を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。 ・原則として、投資するハイブリッド証券は、当ファンドの償還日前にコール（繰上）償還や定時償還が設けられている銘柄とします。 ・外貨建て資産については、為替変動リスクを回避するため、原則として為替のフルヘッジを行います。 ・実際の運用にあたっては、パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー（PineBridge Investments LLC）に外貨建て資産の運用に関する権限を委託します。
主要投資対象	G7諸国のG-SIFIsに指定されている、または指定される見込みの金融機関が発行しているハイブリッド証券を主要投資対象とします。
運用方法	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建て資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年2、5、8、11月の各15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

＜参考情報＞代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
※上記グラフは、2013年8月～2018年7月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、当ファンドは2014年8月21日設定のため2015年8月から2018年7月までの平均値・最大値・最小値を表示しています。
※上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。
※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●各資産クラスの指数
日 本 株：東証株価指数（TOPIX）配当込み
先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）
※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

東証株価指数（TOPIX）配当込みは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。
MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）は、MSCI Inc.が開発した指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が作成している指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属しています。また、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。
FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより算出および公表されている債券指数であり、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出・公表する指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容（2018年7月31日現在）

償還日現在における有価証券等の組入れはありません。

純資産等

項　　目	第15期末	第16期末
	2018年5月15日	2018年7月31日
純資産総額	3,854,248,555円	3,103,527,749円
受益権総口数	3,727,950,422口	3,041,710,696口
1万口当たり基準価額	10,339円	－
1万口当たり償還価額	－	10,203円23銭

※当作成期間（第15期～第16期）中における解約元本額は1,187,994,893円です。